



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年2月9日

上場会社名 コムシード株式会社
 コード番号 3739 URL <http://www.commseed.net/>

上場取引所 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 羽成 正己
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 大久保 泰夫

TEL 03-5289-3114

四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	1,136	0.4	20	9.2	16	9.6	25	
29年3月期第3四半期	1,132	34.0	22	31.3	18	29.7	4	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	4.55	
29年3月期第3四半期	0.95	

(注)30年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

29年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	1,080	728	67.4
29年3月期	1,181	703	59.6

(参考)自己資本 30年3月期第3四半期 727百万円 29年3月期 703百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		0.00	0.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,700	9.8	55	23.1	50	22.3	10	67.3	1.77

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	5,737,264 株	29年3月期	5,602,129 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

30年3月期3Q	株	29年3月期	株
----------	---	--------	---

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	5,650,286 株	29年3月期3Q	5,207,788 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(重要な後発事象)	6
3. 補足情報	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、当第3四半期累計期間において、スマートフォン向けコンテンツビジネスのさらなる成長およびシェアの拡大を図るべく、引き続き経営資源をスマートフォンアプリ開発およびサービス運営に集中し、既存サービスの拡充および新規サービスの開発に取り組んでまいりました。

売上高につきましては、既存事業および新規案件を含む受託開発が順調に推移した結果、前年同期比0.4%の増収となり、第3四半期累計期間の売上高は創業来の過去最高を記録いたしました。

利益面につきましては、売上原価において社内開発の比重を高め外注費が抑制できたものの、販売管理費及び一般管理費で新規コンテンツに係る広告宣伝費および人件費が増加したことや、第2四半期において収益性改善が困難と見込まれる一部配信中タイトルの固定資産の減損処理による影響から、四半期純利益を確保するには至りませんでした。

以上の結果、売上高1,136,682千円(前年同期比0.4%増)、営業利益20,639千円(前年同期比9.2%減)、経常利益16,818千円(前年同期比9.6%減)、四半期純損失25,734千円(前年同期は四半期純利益4,955千円)となりました。

なお、当社はモバイル事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていませんが、事業におけるサービス分野別の主な取り組みは、以下のとおりであります。

①既存ソーシャルゲームについては、バーチャルホール『グリパチ』を中心に、順調に推移しております。『グリパチ』においては新規アプリの投入、第4四半期に予定されている大型リニューアルの準備を進行しております。

②従量制アプリについては、方針の転換から、利益重視のタイトル選定と開発・運用を行うため、リリースタイトル自体が減少したことに伴い、売上高も前年同期と比べて減少しております。

③受託開発・運営に関しては、今期より開始した新規受託業務が順調に推移し、前年同期を上回りました。

④ゲームパブリッシング事業については、9月にリリースしたバーガーショップ経営ゲーム「I LOVE バーガー」に関するプロモーションを開始しております。また、各種イベントの投入やユーザー継続のための施策を実施し、継続率の高い状態を維持しております。その他、複数の新規タイトルに関して、検討及び開発を進行しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第3四半期会計期間末における資産は、前事業年度末から100,797千円減少し、1,080,381千円(前事業年度末比8.5%減)となりました。

これは、主に流動資産で現金及び預金2,732千円が増加したものの、受取手形及び売掛金65,063千円、その他18,693千円が減少したこと、固定資産で投資その他の資産8,582千円が増加したものの、無形固定資産26,611千円が減少したことによるものです。

②負債

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末から125,915千円減少し、351,474千円(前事業年度末比26.4%減)となりました。

これは、主に流動負債で買掛金76,575千円、未払法人税等2,270千円が減少したものの、短期借入金29,980千円、1年内返済予定の長期借入金3,277千円が増加し、固定負債で転換社債型新株予約権付社債50,000千円、長期借入金29,493千円が減少したことによるものです。

③純資産

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末から25,117千円増加し、728,907千円(前事業年度末比3.6%増)となりました。

これは、主に第3回無担保転換社債型新株予約権付社債の権利行使に伴う株式の発行により、資本金25,000千円、資本剰余金25,000千円の増加と、四半期純損失の計上に伴う利益剰余金25,734千円の減少によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成29年11月10日の「業績予想の修正および特別損失の計上に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	695,366	698,098
受取手形及び売掛金	268,036	202,972
仕掛品	1,971	1,857
原材料及び貯蔵品	1,884	1,612
その他	66,121	47,427
流動資産合計	1,033,380	951,968
固定資産		
有形固定資産	10,605	9,247
無形固定資産	71,619	45,007
投資その他の資産	65,574	74,157
固定資産合計	147,799	128,413
資産合計	1,181,179	1,080,381
負債の部		
流動負債		
買掛金	193,118	116,542
短期借入金	41,320	71,300
1年内返済予定の長期借入金	36,047	39,324
未払法人税等	6,840	4,569
その他	58,073	57,792
流動負債合計	335,398	289,528
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	50,000	—
長期借入金	62,626	33,133
退職給付引当金	10,167	9,615
役員退職慰労引当金	19,197	19,197
固定負債合計	141,990	61,945
負債合計	477,389	351,474
純資産の部		
株主資本		
資本金	859,926	884,926
資本剰余金	291,035	316,035
利益剰余金	△447,410	△473,145
株主資本合計	703,550	727,815
新株予約権	240	1,092
純資産合計	703,790	728,907
負債純資産合計	1,181,179	1,080,381

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	1,132,333	1,136,682
売上原価	816,496	784,336
売上総利益	315,837	352,346
販売費及び一般管理費	293,117	331,706
営業利益	22,719	20,639
営業外収益		
受取利息	15	24
業務受託料	1,000	—
その他	5	0
営業外収益合計	1,021	24
営業外費用		
支払利息	1,294	1,665
支払手数料	341	2,180
社債発行費	3,498	—
営業外費用合計	5,134	3,845
経常利益	18,606	16,818
特別利益		
知的財産権譲渡益	31,461	—
新株予約権戻入益	—	240
特別利益合計	31,461	240
特別損失		
減損損失	45,053	40,820
特別損失合計	45,053	40,820
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	5,014	△23,762
法人税、住民税及び事業税	6,056	1,721
法人税等調整額	△5,996	250
法人税等合計	59	1,972
四半期純利益又は四半期純損失(△)	4,955	△25,734

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間において、第3回無担保転換社債型新株予約権付社債が権利行使され、資本金及び資本準備金がそれぞれ25,000千円増加し、当第3四半期会計期間末において資本金が884,926千円、資本準備金が316,035千円となっております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(主要な設備)

①重要な設備計画の完了

前事業年度末及び第2四半期累計期間において計画していた重要な設備の新設計画のうち、当第3四半期累計期間に完了したものは、次のとおりであります。

事業所名 (所在地)	事業部門 の名称	設備の内容	資金調達方法	完了年月	投資金額 (千円)
本社 (東京都千代田区)	全社	ソフトウェア	自己資金	平成29年4月	30,397
		ソフトウェア	自己資金	平成29年6月	42,937
		ソフトウェア	自己資金	平成29年9月	4,238
		ソフトウェア	自己資金	平成29年12月	3,965

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

②重要な設備の新設計画

第2四半期累計期間において計画していた重要な設備の新設計画のうち、当第3四半期累計期間に計画の変更があったものは、次のとおりであります。

事業所名 (所在地)	事業部門 の名称	設備の内容	投資予定額		資金調達 方法	着工及び完了予定 年月		完成後の 増加能力
			総額 (千円)	既支払額 (千円)		着手	完了	
本社 (東京都千代田区)	全社	ソフトウェア	28,000	10,000	自己資金	平成29年 9月	平成30年 3月 (注) 5	(注) 4
		ソフトウェア	未定 (注) 3	7,046	自己資金	平成30年 1月	平成30年 3月	(注) 4

- (注) 1. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。
 2. ソフトウェアにはソフトウェア仮勘定を含んでおります。
 3. 投資予定の総額については未確定であるため、未定としております。
 4. 完成後の増加能力につきましては、合理的な算出が困難なため記載しておりません。
 5. 当初の計画に比べ、完了予定年月が2か月延期となりました。